

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 特 性	D. 高 い 知 性 、 善 美 な 情 操 、 高 雅 な 特 性 の 総 合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
18UARC1004	建 築 物 理	1	力学を中心に、振動、光、熱も含めて、建築の安全性や快適性に影響する自然現象の普遍的な法則を学ぶ。これを通して、建築を取り巻く自然現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	建築を学ぶ上で重要な物理学の基礎を習得し、向上させるとともに、建築学におけるさまざまな問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎														
18UARC2211	建築設計演習Ⅰ	2	建築設計の基礎を理解する上で重要な、木造および鉄筋コンクリート造による建築設計を学ぶことを目的とする。そのため、人間の基本的な行為に必要な空間を木造により設計する演習と、「美」を出発点とした小規模建築空間を鉄筋コンクリート造により設計する演習を行う。	人間の基本的な行為や知覚に根ざした小規模建築の設計の理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○					
18UARC2212	建築設計演習Ⅱ	2	機能と空間構成の関係を理解するとともに、一人ひとりの内面を心像として具体的な建築空間として表現する基礎的手法を学ぶことを目的とする。そのため、幼児のための空間の構成、芸術的空間の制作、美しい風景の創造に関する演習を行う。	人間の行動や内面に根ざした小規模建築の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○					
18UARC3211	建築設計演習Ⅲ	3	家族や集団のための建築空間を設計する基礎的手法を学ぶことを目的とする。そのため、家族や仲間等の集団生活、あるいは不特定多数の群集の利用のための建築空間を、RC造や膜構造等によって設計する演習を行う。	家族や集団のための建築の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎					
18UARC3212	建築設計演習Ⅳ	3	音響、舞台芸術や町並み、地域の商業活動等の諸条件も考慮しつつ、集団のためのより複雑な建築・都市空間を設計する手法を学ぶことを目的とする。そのため、音楽や舞台芸術のための建築空間、集合行動、商業のための建築・都市空間を設計する演習を行う。	集団のためのより大規模で複雑な建築、都市の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎					
18UARC4211	建築設計演習Ⅴ	4	福祉、医療、地域の歴史・風土・文化といったより複雑な諸条件を考慮しつつ、後期の卒業研究（卒業設計）、さらに大学院における高度な設計課題や実務実習を行う上で必要な建築空間の計画、設計の手法を学ぶことを目的とする。そのため、福祉、医療のための建築空間の設計、および地域の歴史・風土・文化を考慮した建築空間の設計の演習を行う。	より複雑な諸条件が要求される建築の設計への理解を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○					
18UARC4212	卒 業 研 究	4	3年半で修得した「真」「善」「美」の総合として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、その成果を卒業論文、卒業設計として総合化してプレゼンテーションする。これにより、大学院においてより高度な職能を身につけるために、あるいは建築家、専門家として自律的に行動し、活躍するために必要な基礎的能力を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。また真に人間的な住環境形成のために、継続的に学習できる能力を習得し、自律的活動ができる職能人としての素養を十分に理解する。	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な特性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な特性の総合		
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2	
18UARC1201	空間表現演習Ⅰ	1	多様な材料の特性を把握しつつ、「美」の視点から、比較的単純な空間を構成する演習を行う。また、実際の建築物の実測と図面化を通して設計製図の基礎を学ぶ。これらの成果を総合し、簡単な建築空間を設計することを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的造形能力と豊かな感性を培う。						◎				○
18UARC1202	空間表現演習Ⅱ	1	多様な材料の特性を把握しつつ、「美」や「強」の視点から、より複雑な空間を構成する演習を行う。また、実際の建築物のスケッチを通して透視図の基礎を学ぶ。最後にこれまで学んできた空間構成手法を総合し、小規模な建築空間を設計することを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的造形能力と豊かな感性をより向上させる。						◎			○	
18UARC1203	図学・情報基礎演習Ⅰ	1	建築設計を学ぶ上で必要となる情報処理の基礎的な知識、能力を習得する。また図学の基礎を学ぶことにより、2次元の平面に描かれた図形の観察や作図を通して、3次元の空間を理解、表現するトレーニングを行い、空間把握能力を向上させることを目的とする。	建築設計を学ぶ上で重要な図学および情報処理の基礎を身につけるとともに、これらを建築設計にかかわるさまざまな問題解決や提案に活用することを目指す。	◎									
18UARC1204	図学・情報基礎演習Ⅱ	1	透視図の原理や作図、および立体の陰影、切断、相貫の作図を学ぶことを通して、3次元の空間を理解し、表現するトレーニングを行い、空間把握能力を向上させる。また、CADを活用して図面を作成する演習等を行い、建築設計のプレゼンテーションにCADを活用できることを目的とする。	建築設計を学ぶ上で重要な図学の応用、およびCADの基礎を身につけ、向上させることにより、建築設計にかかわるさまざまな問題解決や提案に活用できる基礎的能力を培う。	◎									
18UARC2203	CAD・CG応用演習Ⅰ	2	CADやCGを活用し、自分自身の設計案を検討する基礎的な演習と、図面や透視図等を用いて設計案を美しく、見やすく、分かりやすく表現し、プレゼンテーションする演習を行うことを目的とする。	CADやCGを、建築設計における問題解決や提案に活用し、合意を形成できる基礎的能力を培う。	◎									
18UARC2204	CAD・CG応用演習Ⅱ	2	CADやCGを自由自在に組み合わせて、自分自身の設計案を効果的に検討するより高度な演習と、図面や透視図等を介して設計案を美しく、見やすく、分かりやすく表現し、より効果的にプレゼンテーションする演習を行うことを目的とする。	CADやCGを自由自在に組み合わせ、これらを建築設計における問題解決や提案に活用し、合意を形成できる基礎的能力を培う。	◎									
18UARC1321	現代建築論	1	「強」「用」「美」、および「真」「善」「美」の関係性を踏まえ、建築家の職能、倫理と社会との関係を理解するとともに、近代建築の誕生から現代建築の成立に至るまで、20世紀の建築が歩んできた道程を学ぶ。これらを通して、これからの現代建築や建築家が求められるものについて理解することを目的とする。	現代建築と歴史、文化、国際社会、地球環境とのかかわりや、現代社会の問題点を理解する能力を培う。これにより、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合し、自立的活動ができる職能人としての素養を理解する。						◎	◎		○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な特性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な特性の総合			
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2		
18UARC2321	建築設計計画Ⅰ	2	主に機能性や防災安全性、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識を習得することを目的とする。そのため人間行動、地球環境と建築の設計、計画の基礎的な関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎知識を踏まえて、「用」その他の視点から、人間行動にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎				○				
18UARC2322	建築設計計画Ⅱ	2	主に機能性や歴史、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識を習得することを目的とする。そのため人間行動、地球環境と建築の設計、計画の基礎的な関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性、歴史的、文化的価値、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎知識を踏まえて、「用」その他の視点から、あらゆる人にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎			◎				
18UARC3321	建築設計計画Ⅲ	3	主に機能性や防災安全性、歴史、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる知識を習得することを目的とする。そのため集団行動、地球環境と建築の設計、計画の関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、歴史的、文化的価値、地球環境問題、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎知識を踏まえて、「用」その他の視点から、個人および集団にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎				◎				
18UARC3322	建築設計計画Ⅳ	3	主に機能性や防災安全性、地球環境問題や国家、地域社会の観点から、建築の設計や計画に関わる知識を習得することを目的とする。そのため、集団行動、地球環境と建築の設計、計画の関係を、人文・社会科学や数理学を活用しながら学ぶ。	建築の機能性や防災安全性、地球環境、国家、地域社会とのかかわり、およびこれらと人文・社会科学や数理学との関係を理解する。理解した基礎知識を踏まえて、「用」その他の視点から、人間と社会にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎					○			
18UARC1323	日本建築史	1	日本建築の歴史と、伝統的な様式、空間構成、構造、意匠、材料などを学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、日本の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	日本建築の歴史、文化に関する基礎知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。								◎			
18UARC1324	世界建築史	1	西洋建築を中心に、その歴史と空間構成、その背景にある建築思想を学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	西洋を中心とした世界の建築の歴史、文化に関する基礎知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。								◎			
18UARC2323	近代建築史	2	欧米と日本を中心に、近代建築の誕生とその歴史、代表的な建築家やその制作、思惟を学ぶとともに、近代建築がもつ歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、近現代の建築を考察し、新たな建築を創生する能力を育むことを目的とする。	近代における国内外の建築の歴史、文化に関する基礎知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。								◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 特 性	D. 高い知性、善美な情 操、高雅な徳性の総合			
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2		
18UARC4351	地盤・振動論	4	建築物の安全性を確保する上で重要な、地盤や土の諸特性を理解し、これらを踏まえた基礎設計の概要について学ぶ。また、地震等の外乱によって生じる建築物の振動の諸特性を理解し、これを踏まえた制振構造や免震構造の基本的な考え方についても学ぶ。	建築の安全性を確保するために重要な、地盤や振動、および基礎設計、制振、免震設計の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎									
18UARC1361	建築一般構造Ⅰ	1	建物に作用するさまざまな荷重や、建築をかたちづくる一般的な構法の概要等、建築一般構造の基礎知識について学習し、建築構法と構造的安全性の関係を学ぶ。また屋根、壁、床、階段等多くの建築物に共通の構法や和室の造作等を学び、建築構法と技術、歴史、文化の関係も理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、建築一般構造の基礎を理解する。また建築構法と技術との関係や、これらがもつ歴史的、文化的価値を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎				○	○				
18UARC3361	建築一般構造Ⅱ	3	建築物の構造システムがもつ一般的な力学的特性を学び、構造安全性を確保する上での構法の重要性を理解する。また建築設計において重要な収まりについて、その安全性、施工性、保守性、意匠性も含めて学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造部材、非構造部材の構法の基礎を理解する。またこれらの構法がもつ歴史的、文化的価値も理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎				○					
18UARC3362	建築各種構造	3	現代建築の最も主要な構造システムである鉄筋コンクリート造および鉄骨造について、これらの構造物の成立原理や力学的特性、および許容応力度設計による各種部材の基本的な設計手法等について学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎									
18UARC3371	建築材料	3	現在最も代表的な建築構造材料である木材、コンクリート、鋼を対象とし、これらが有する基礎的特性と、建築構造との関連を学ぶことを目的とする。また、これらの材料によって生み出される木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造建築の安全性を確保するための、部材設計法の基礎等も学ぶ。	建築の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎と技術者倫理を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎					○				
18UARC3373	建築材料実験	3	現在最も代表的な建築構造材料である木材、コンクリート、鋼を対象とし、これらが有する基礎的特性と、これらの材料を用いた木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造建築の力学的挙動について、実験を通して学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎を、実験を通してより具体的に理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎									○
18UARC3382	建築生産	3	企画から維持保全に至る建築生産のプロセス全体の基礎的事項と、各プロセスにおいて設計者、施工者が果たすべき役割を学ぶ。また、各プロセスにおいて技術者に求められる倫理観や幅広い視野、マネジメントへの認識と公正な判断力を養うことを目的とする。	コスト、スケジュールなど、建築生産プロセスにおける様々な制約条件を理解するとともに、さまざまな専門家、技術者との共同の重要性を理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる基礎的能力を培う。								○			◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅な 特性	D. 高い知性、善美な情 操、高雅な特性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
18UARC1402	フィールドワークⅠB	1	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
18UARC2401	フィールドワークⅡA	2	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
18UARC2402	フィールドワークⅡB	2	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
18UARC3401	フィールドワークⅢA	3	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
18UARC3402	フィールドワークⅢB	3	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
18UARC4401	フィールドワークⅣ	4	建築物や町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、4年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	4年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		

